



追悼 故 杉谷雅文 名誉教授

火の出るようなゼミナール

広島大学名誉教授杉谷雅文先生は平成三年五月七日、肺炎による呼吸不全のため広島市西区福島生協病院で逝去されました。享年八十歳でした。先生は、昭和十二年広島文理科大学教育学科を御卒業後、四十有余年にわたり教育と研究の道を歩まれました。とりわけ教育学部教授としての二十二年間は教育哲学講座において、学問研究並びに後進の育成に大きく貢献されました。

先生は昭和十二年より福井、鹿児島、鳥取において教師教育に心身を捧げられ、更に学問研究の師としてもその深い学識によつてそばにいる者たちに汲み尽くせぬ感化を与えて下さいました。先生の氣迫に満ちた教育哲学ゼミナールのご様子は研究室に語り継がれております。

御専門のテオドール・リットを中心としたドイツ教育哲学研究の御業績について先生は、難解とされるリットの思想を体系化することに心血を注がれ、その学位論文を中心に公刊された『現代哲学と教育学』はドイツ本国においても類をみない研究として高く評価され、ドイツ教育学の研究に一時期を画すと共に、第一人者としての道を歩まれました。

先生は、一念ひたすら学問研究と後進の教育に努めてこられました。その純粋なお姿はその偉大なご功績と共に永遠に私達の中で生きつづけることを信じて疑いません。先生、どうぞ安らかに永遠の眠りにおつき下さいませよう。

(教育学部教育哲学・教育史講座)

小笠原道雄



追悼 故 関根 毅 教授

工学部第四類建築計画学(建築環境学) 関根 毅教授は平成三年五月二十九日、結腸ガンがもとで広島大学附属病院で逝去されました。昭和三年生まれの先生は昭和二十八年に東京工業大学建築学科を卒業し、国立公衆衛生院を経て、昭和五十一年に広島大学工学部教授として着任されました。専門は「市街地風の性状解析ならびに自然換気の研究」で、都市周辺の自然環境と人工環境の問題について、研究を進めるかたわら、後進の指導に当たられました。また、平成三年には二期目の日本建築学会中国支部長に就任され、特に中国地方の建築関係の学術研究の充実を図られました。また、私生活の面でも催しを計画することが好きで、山登り、スキー、テニス、マラソン、お花見は暦の中に組込まれていましたし、将棋大会も何度も企画されました。特に学生時代から行っていた器楽の演奏には熱心で、腕の上がらない後輩を叱咤激励して演奏会を行い、最近ではチェロの演奏に取組み、退官記念講演に代えてパツハの無伴奏チェロ・ソナタを演奏するのが夢でした。本人の遺志とご家族の希望により葬儀・告別式は行いませんでした。謹んで先生のご冥福をお祈りいたします。

(工学部建築計画学講座)

鈴木 充